

カテゴリー別の意見・提案

委員の皆様から出た意見・提案や資料・質問に対する事務局から説明をカテゴリー別に分けました。

事業費について

整備費

中期財政計画との整合性について

下水道債

繰入金・都市計画税

経済比較について

現行計画の経済比較

計画見直しによる経済比較

施設整備について

10年概成の整備面積

浄化センターの流入予測

都市計画の制度

都市計画マスタープラン

市街化調整区域の使用料、受益者負担金について

計画区域の対応

3団地の大型合併浄化槽の接続について

私道部分の整備

接続助成制度

市街化調整区域の対応について

合併浄化槽の促進方法

市街化調整区域の横須賀市との隣接団地

その他

下水道台帳、水処理施設台帳について

事業費について

整備費

議事録 ページ	内容	委員名	備考
第1回(通算第2回) 29ページ	計画区域の審議を進めるにあたり、概数でよいので財政的にどのようになるのか提示いただきたい。	望月会長	【事務局説明】 資料10により説明。計画区域を513haに仮定すると概算事業費は5,803,925千円(約58億円)と試算しました。
第1回(通算第2回) 23ページ	10年概成における下水道事業に係る国、県の補助制度について確認したい。町費の負担はどうなるのか。	田嶋委員	現行は事業費の1/2が国費となっています。10年間は同様の制度が継続されると思われます。10年後に補助制度が廃止になるかは不明です。補助が確約されているうちに事業を進めたいと考えています。
第1回(通算第2回) 28ページ	下水道の工法、シールド工法などで本管の整備費が安価になってきている。国から補助金が交付されている時に積極的に整備を推進されたい。	原委員	

中期財政計画との整合性について

議事録 ページ	内容	委員名	備考
第1回(通算第2回) 20、21ページ	中期財政計画の町債残高のめざそう値との関係はどのようになるのか。シミュレーションを提示されたい。	黒下委員	【事務局説明】 資料11により説明。下水道債の残高が平成29年度の73億5600万円を、平成30年度以降、超えないため、めざそう値の範囲内となります。

下水道債

議事録 ページ	内容	委員名	備考
第2回(通算第3回) 16ページ	下水道事業は一般会計の事業とは違い一定の借入金を入れ管理するもの。そのためのシステムがあれば非常に良い下水道運営になる	望月会長	【事務局説明】 平成27年度から3年かけて公営企業会計への移行を目指しています。

繰入金・都市計画税

議事録 ページ	内容	委員名	備考
第1回(通算第2回) 27ページ	市街化区域では都市計画税を納税することになる。この都市計画税は、一般会計に入るので、下水道事業に一般会計から繰出しするということは、やむを得ないシステムといえる。	望月会長	【事務局説明】 資料11により説明。例年、都市計画税、5億1,000万円を、下水道債の返済に充当しています。現在、都市計画税の用途は、全て下水道事業へ充当しています。

経済比較について

現行計画の経済比較

議事録 ページ	内容	委員名	備考
第1回(通算第2回) 16ページ	現行計画の経済比較から都道府県構想マニュアルの変更があるどのように対応するのか。新マニュアルでは浄化槽の耐用年数も32年で計算することになる。	吉野委員	【事務局説明】 資料2(28ページ)により現行計画の説明。計画見直しには、最新の都道府県構想マニュアルで再度計算し、資料提供いたします。

計画見直しによる経済比較

議事録 ページ	内容	委員名	備考
第2回(通算第3回) 20ページ	経済比較をどう読み取るべきか。	吉野委員	【事務局説明】 資料14、参考資料より計画見直しの経済比較の説明。 浄化槽の耐用年数の延長、下水道工事費の高騰などが要因となり、86%のブロックで、個別処理(合併浄化槽)が有利という結果になりました。

施設整備について

10年概成の整備面積

議事録 ページ	内容	委員名	備考
第1回(通算第2回) 29ページ	計画区域の審議を進めるにあたり、概数でよいので財政的にどのようなになるのか提示いただきたい。	望月会長	【事務局説明】 資料10により説明。計画区域を513haに仮定すると10年間の面整備(管渠)は143.87ha 概算事業費は4,170,925千円と試算し、施工可能な面積と考えます。
第3回(通算第4回) 18ページ			【事務局説明】 市街化区域の敷設工事をするのにもかなりの本数となり、施工可能な数値ではありますが、関係機関との調整が必要となります。 市街化調整区域も合わせて施工することになると町中が工事だらけになり、生活道路を確保しながら物理的に可能なのか検討をする必要があります。

浄化センターの流入予測

議事録 ページ	内容	委員名	備考
第2回(通算第3回) 29,30ページ	浄化センターの流入水量の予測をある程度、幅のある数値でよいので開示されたい。	望月会長 黒下委員	【事務局説明】 参考資料により説明。流入水量は4%~5%の伸びを試算すると、平成37年度で日平均7,694~8,548m ³ となることが予想されます。

都市計画の制度

都市計画マスタープラン

議事録 ページ	内容	委員名	備考
第1回（通算第2回） 15ページ			【事務局説明】 平成9年度に都市計画マスタープランを都市計画課所管で作成しました。当時の計画人口は36,000人、木古庭・上山口地区の県道沿線も住宅が多いので、市街化区域に編入しようという計画でした。現在は、国の方針として、少子化や東日本大震災の影響などで集約型の都市、コンパクトシティ化を進めています。市街化調整区域は住宅開発を規制しています。
第3回（通算第4回） 20ページ			木古庭・上山口地区の県道沿線を市街化区域に編入を計画していた、都市計画マスタープランを見直していますが、見直しの計画案では、市街化調整区域を市街化区域に編入する記述をしていません。市街化調整区域は市街化を抑制する地域に位置づけられます。下水道事業を見直す要因にもなっています。

市街化調整区域の使用料、受益者負担金について

議事録 ページ	内容	委員名	備考
第2回（通算第3回） 24ページ	市街化調整区域に公共下水道を敷設した場合、使用料以外の別の料金を取ることを考えるべき。	原委員	【事務局説明】 市街化調整区域では、都市計画税の負担がないため、当該区域へ下水道整備を行う場合、受益者負担金、協力金のような形で都市計画税相当額の負担について検討する必要があります。

計画区域の対応

3 団地の大型合併浄化槽の接続について

議事録 ページ	内容	委員名	備考
第 2 回 (通算第 3 回) 7 ページ	大型合併浄化槽で処理している 3 団地について、早期に下水道に接続すべき、使用料の歳入もあり経済的な観点からのメリットもある。	黒下委員	【事務局説明】 民間の開発団地のため、町の基準による管路整備ではない状況にあります。今後、町が公共下水道として維持管理するためには、事前に現況調査を行う必要があります。
第 2 回 (通算第 3 回) 9 ページ	大型合併浄化槽が老朽化しているようだ。次世代に負担をかけたくない。世代交代などもあり住民への説明を十分に行ってほしい。	田代副会長	
第 2 回 (通算第 3 回) 10 ページ	大型合併浄化槽の処理区域を下水道の認可区域にし、国の補助金を利用し老朽化した管渠を再生して行く方法もある。	原委員	
第 2 回 (通算第 3 回) 11 ページ	老朽化した施設は、早くメンテナンスをした方が安価で延命できる。	望月会長	

私道部分の整備

議事録 ページ	意見内容	委員名	備考
第 3 回 (通算第 4 回) 27 . 28 ページ	概算事業費には私道部分も含まれているか。私道部分が未整備になってきた経緯があり、今後も未整備になることが予想される。計画区域にある私道の部分の整備を促進することを検討されたい。	黒下委員	【事務局説明】 私道部分についても概算事業費には含まれています。2 軒以上の利用のある私道については、地権者の同意があれば町が工事を施工します。

接続助成制度

議事録 ページ	意見内容	委員名	備考
第1回(通算第2回) 28ページ	本管、枝管が整備されても各家庭から下水道へ接続されていないケースがある。接続率向上の方策を検討されたい。	原委員	
第3回(通算第4回) 29ページ	水洗化工事資金融資あっ旋及び利子補給制度を利用率のよい制度に改めてはどうか。	黒下委員	【事務局説明】 制度の概要については、「葉山町公共下水道事業の概要」の9ページに記載があります。手続きの簡略化は課題となっていますが、他都市では未返済の問題などもあり、他自治体においても葉山町の制度のようなものが主流となってきました。
第3回(通算第4回) 11ページ	汲取り、単独浄化槽、合併浄化槽から下水道への切替工事に補助制度があるか。	田代副会長	【事務局説明】 水洗化工事の助成制度については、「葉山町公共下水道事業の概要」の8ページに記載があります。上限3万円で工事費の1割を補助しています。

市街化調整区域の対応について

合併浄化槽の促進方法

議事録 ページ	内容	委員名	備考
第1回（通算第2回） 29ページ	合併浄化槽の整備に関し、従来どおりの個人設置が市町村設置型によるものかメリット、デメリットを検証されたい。	望月会長	

市街化調整区域の横須賀市との隣接団地

議事録 ページ	内容	委員名	備考
第1回（通算第2回） 22.23ページ	市街化調整区域の木古庭地区で、横須賀市に隣接している地域は地理的条件や経済面を考慮し、横須賀市の下水道へ接続することを検討されたい。	荒本委員	

その他

下水道台帳、水処理施設台帳について

議事録 ページ	内容	委員名	備考
第3回（通算第4回） 10ページ	下水道台帳を電子化、そこに浄化槽の整備状況等を取り込めるようなシステム作りをしたほうが良い。	吉野委員	【事務局説明】 非常に良いと考えますが、構築には一定の経費も必要となるため、今後の検討課題といたします。